

第6回 難民理解講座

ー日本に難民は定住したか？ー



シンポジストとタイトル

「難民ソーシャルワーク：事例からの報告」 石川美絵子（社会福祉法人日本国際社会事業団）

「学習支援・日本語支援の現場から」 矢崎理恵（社会福祉法人 さぼうと21）

「支援の際のネットワーク構築：医療機関との連携から見たもの」 鶴木由美子（認定NPO法人 難民支援協会）

ディスカッサント

野田文隆（めじろそらクリニック）

本シンポジウムは「難民は日本に定住したか？ー生活支援に焦点をあてて振り返る」というテーマのもと、現在、日本で精力的に難民の生活支援に携わっている方々から、リアリティのある支援状況や、多文化共生社会に向けた支援の展望についてじっくりお話を伺うものです。このシンポジウムをきっかけに支援者間の連携や互いの支援観について共有できればと考えています。

シンポジウム司会

伴野崇生（慶應義塾大学 政策・メディア研究科 特任講師）

石川美絵子（社会福祉法人日本国際社会事業団 常任理事）

タイムスケジュール

10時 開会の挨拶

10時5分から10時20分

日本に在住する難民について

10時20分から11時30分 シンポジウム

休憩

11時45分から12時 指定発言

12時から12時55分 ディスカッション

13時 閉会の挨拶

▶ 日時：平成28年11月26日土曜日

10時から13時

▶ 場所：東京都豊島区西巣鴨3-20-1

大正大学7号館8階

https://www.tais.ac.jp/utility/access_map/

▶ 参加費：1,000円（学生無料）

*当日お支払いください

▶ 申込先:NPO法人多文化間メンタルヘルス研究所

E-mail: tabunkamental@gmail.com

担当：福島正樹

▶ 主催：特定非営利法人 多文化間メンタルヘルス研究所 理事長 野田文隆

<http://www.tabunkakan-mental.com/>